

沖縄観光業界 中間管理職育成プログラム 募集要項

1. 研修概要

(1)研修目的

沖縄県は、新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画の基本政策として、世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革を掲げており、国内外の観光客が満足する質の高いサービスを提供できる人材の育成・確保を進めております。

その中で、組織運営を支える中間管理職には、観光業界を取り巻く急激な環境変化や人材構造の変化に対応しながら、さらなる成長が求められています。中間管理職が高い意欲をもって能力向上に努めることは、組織の活性化ひいては企業・業界の発展に繋がると考えます。

本プログラムでは、今後、管理職を目指す方、または管理職への登用を期待されている中間管理職の方を対象に、全 5 回の講座を通じて、管理職としてのマインドセットや最低限必要なマネジメントスキルを理論的かつ実践的に習得することで、現場と経営の橋渡し役としてチームの成果を最大化できる人材の育成を目指します。

(2)研修方式

- ・対面研修（第 1 回、第 5 回）
※研修会場（予定）：沖縄産業支援センター（沖縄県那覇市字小禄 1831 番地 1）
- ・Zoom を利用したリアルタイムでのオンライン研修（第 2 回、第 3 回、第 4 回）

(3)対象者

沖縄県内に事業所を有する宿泊業、観光施設、旅行業、レンタカー業、旅客運輸業、観光関連団体等に所属する方のうち、現在、中間管理職または管理職として従事されている方（目安：観光業界で 8 年以上勤務）

【このような方におすすめ】

- ・自身の経験や実績がまだまだ浅いと感じる中、中間管理職を任されている
- ・多様な人材や雇用形態がチームに集まる中、部下への指導方法や効果的な組織運営について学びたい
- ・現場のオペレーションには精通しているが、今後管理職を目指すにあたり管理会計や経営視点の習得が必要
- ・すでに管理職を任されているが、組織マネジメントについて、改めて基礎から学び直したい

(2)定員・申し込み締め切り

- ・各講座：＜先着順＞ 20 名まで
- ・各開催日の 1 週間前までにお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

(3)参加要件

- ・すべての講座を受講することが望ましいですが、参加者の都合によっては、希望する講座のみの受講も可能とします。
- ・全講座は日本語で実施いたします。外国人人材の参加については、グループでのディスカッションなど日本語でのコミュニケーションに支障がない方
- ・オンライン研修をご受講の際は、インターネットに接続可能な PC、Web カメラ（PC 内蔵カメラ）、ヘッドセット（マイク付きヘッドフォン）、安定した通信環境をご用意できる方

(4)研修参加費用

・受講料：無料

※本研修は、沖縄県の観光政策の一環として、公費で支援されております。

・対面研修においては、研修会場までの移動費、駐車場代は各社様のご負担でお願いいたします。

(4)申込方法

・募集ページ内、WEB 申し込みフォームより必要事項を入力の上、お申込みください。

【募集ページ URL】

https://otssmrc.co.jp/kankoujinzai/management_seminar_r7fy/

2. 研修内容

(1)研修スケジュール

日程	形式	時間	講座テーマ	内容
2025年 11月10日 (月)	対面研修 沖縄産業 支援センター	14:00 ～ 17:00	【第1回】管理職の心構えと 部下のやる気を引き出すコーチング	管理職としての心構えを理解するとともに、部下のやる気や能力を引き出し、自発的な行動をサポートするコーチングスキルを習得する。
12月18日 (木)	オンライン 研修	13:00 ～ 15:00	【第2回】ホスピタリティ産業の マネジメントに必要な管理会計	これから管理職になる方に必要な数字の見方、収支や利益のしくみを知り、利益に繋がる意思決定力を高める。
2026年 1月8日 (木)	オンライン 研修	13:00 ～ 15:00	【第3回】ホスピタリティ産業における 投資と回収の考え方	直感ではなく数字で判断できる管理職へ！新しい取り組みにお金をかけるとき、いつまでに、どのくらい回収できるか？管理職として必要な「利益に繋がる投資判断」の基礎を学ぶ。
1月15日 (木)	オンライン 研修	13:00 ～ 15:00	【第4回】サービス・マネジメント& サービス・マーケティング	サービスの価値を最大化するために必要な組織運営と、ホスピタリティ産業に即したマーケティングの基礎を学び、サービスマネジメントの実務に資する力を養う。
1月29日 (木)	対面研修 沖縄産業 支援センター	14:00 ～ 17:00	【第5回】オペレーショナル・ エクセレンスな職場を創る	各メンバーが業務に対して高いレベルで継続的な改善を実施し、効率的に運営することで、少人数でもお客様の満足度を高める体制づくりを目指す。

※講座テーマ、内容、講師、研修日時、研修会場などは変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

※録画可能な講座は、アーカイブとして公開いたします。

(2) 講師紹介

【第1回】管理職の心構えと部下のやる気を引き出すコーチング	
 <p>リム 紗代 株式会社ワダチラボ 企業支援事業部長</p>	<p>国家資格キャリアコンサルタント、プロコーチ、 日本教育推進財団認定コミュニケーショントレーナー 奈良県出身。大学卒業後マレーシアのリゾートでレストランマネジメントを担当し、多様性への理解を深めた。 2010年に沖縄へ移住し、観光施設での広報・営業を経て県のキャリア支援事業に携わり、求職者支援や人材 定着支援に従事。 その後、ホテル運営会社で、日本初のコーチングマネージャーとして研修を企画・実施。 現在はワダチラボにて人事制度設計と人材育成の両輪から企業成長を支援し、年間200回以上登壇してい る。</p>
【第2回】ホスピタリティ産業のマネジメントに必要な管理会計	
 <p>吉田 雅也 淑徳大学 経営学部 観光経営学科 教授</p>	<p>筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群 経営学学位プログラム修了。修士 (経営学)。青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 国際マネジメント専攻修了。経営管理修士 (MBA)。 株式会社東急ホテルチェーン(現:東急ホテルズ&リゾート) 経営管理室マネージャー、コンラッド東京 財務 経理部課長、パレスホテル東京 経理部支配人などを歴任後、2015年より大学教員としてホテル経営人材の 育成に携わる。著書に『図解即戦力 ホテル業界のしくみとビジネスがこれ1冊でしっかりわかる教科書』(技術評 論社) など多数。</p>
【第3回】ホスピタリティ産業における投資と回収の考え方	
 <p>吉岡 勉 東洋大学 国際観光学部 教授</p>	<p>1986年 高校卒業後に有限会社ワイコム研究所に入社。システムエンジニアとして、中央官庁や金融機関等の 情報システム開発運用に従事 2006年9月、産業能率大学経営情報学部通信教育課程卒業 2009年3月、産業能率大学大学院総合マネジメント研究科MBAコース修了。修士(経営管理) 2012年4月、産業能率大学情報マネジメント学部 准教授 2012年9月、亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科博士後期課程修了。博士(経営学) 2017年4月、東洋大学国際観光学部 准教授 2021年4月、(同大学同学部) 教授</p>
【第4回】サービス・マネジメント&サービス・マーケティング	
 <p>葛山 智子 株式会社T.K. Associates 代表取締役 グロービス経営大学院 教授</p>	<p>名古屋大学教育学部卒業 オハイオ大学経営大学院修士課程(MBA) 同大学院スポーツ健康学部スポーツマネジメント修士課程(MSA)修了 大学院卒業後、ナイキ・ジャパン、アマゾン・ジャパン、外資系コンサルティング会社を経て グロービス(MBAならびに組織変革コンサルティング&リーダー育成)に参画。 2014年から2023年までの9年半の間、グロービスの東南アジア統括拠点(在シンガポール)に駐在。グロービスの 海外事業立ち上げとともに、東南アジア統括会社など3社の社長を歴任。日本本社でも、経営メンバーとして マネジングディレクターを務めた。 現在は、株式会社T.K.Associatesの代表取締役として、日本・海外にて講演・発信・コンサルティングなどに従 事。グロービス経営大学院では、現在も経営戦略・マーケティング戦略領域、サービス・マネジメント領域の教授と して教壇に立つ。 過去10年間、毎週、海外に出張していた生活であったため、今では「旅をしながら仕事をする」日々。</p>
【第5回】オペレーショナル・エクセレンスな職場を創る	
 <p>坂下 雅行 株式会社宿屋塾 エグゼクティブディレクター</p>	<p>1976年群馬県前橋市生まれ。県立前橋商業高校卒業。 ホテル日航東京(現ヒルトン東京お台場)及びコンラッド東京において、いずれも開業メンバーとして従事し、ドア マン、コンシェルジュ等、主に宿泊部門における顧客接点の最前線での職務を経験。 2010年 アゴーラ・ホスピタリティーズに入社。伊豆今井浜温泉今井荘 副総支配人、野尻湖ホテル エルボスコ 総支配人などを歴任し、その間、数々のリブランドとグループ内のシェアサービス構築を経験。グループ全体のマーケ ティング企画部門の責任者を経て、2014年より人材育成における幹部候補に対する文化形成プログラムを主 導し、組織内での価値観の浸透や、幹部候補者の意識改革を促す成果を上げる。その後、新規開業などのホ テル開発も担当。2021年11月より(株)サヴィーコレクティブ ヴァイス・プレジデント・オペレーショナルプランディ ングに就任。サヴィー京都(合)元代表。2024年11月より現職。</p>

3. お問い合わせ

受託事業者：株式会社 OTS サービス経営研究所 沖縄県那覇市松尾 1-2-3 (5階)

TEL : 098-869-1717 Email : otssmrc@otsinfo.co.jp 担当：與儀、油谷

※恐れ入りますが、お問合せは原則メールにてお願いいたします。

※お電話の際は、「中間管理職育成プログラム」の件でお問合せいただいた旨をお伝え下さい。

4. 個人情報の取り扱い

お預かりした個人情報は、本事業の運営にかかわる目的にのみ使用いたします。

以上